

沖縄・八重山諸島には、アオバセセリを含めた大型のセセリチョウが、タイワンアオバセセリ、オキナワビロードセセリ、テツイロビロードセセリ、バナナセセリの5種いるのだが、いずれも簡単に会えるチョウではない。このなかでアオバセセリの美しさとは程遠くて、なんでアオバなのと言いたくなるタイワンアオバセセリはすでに記述している。テツイロビロードセセリは仲間川林道でシロノセンダングサに吸蜜飛来した個体をみているが撮影記録はなく、沖縄・八重山諸島訪問16回目の10月に、ようやくオキナワビロードセセリの画像記録が撮れた。

Sep. 20, 1997：西表島仲間川林道

午前中に一時を過ぎた林道でしばらく粘ってみるが「竹盛旅館」に同宿している田中さんのいわれた通りでヤエヤマイチモンジの活動時刻は過ぎたらしい。ちょうど木陰のトゲのある厚手の植物葉上に止まったクロセセリを Video で狙うもいい絵としては捉えられず。偶然にもオキナワビロードセセリの産卵状況を目撃できてクロヨナという植物がマメ科といいながら結構な大木であることを知る。この木が陰を落とす地面すれすれにヒョイヒョイという感じで忙しく飛び回るヒカゲチョウをネットインすると、なんと後翅が傷んだシロオビヒカゲ。近くに竹藪がみられることで納得だが、蝶採集案内書に従って藪を叩いてみてもシロオビヒカゲは踊らず。ハブが怖いので深入りはしない。

Oct. 27, 2004：沖縄百名

この場所ではルリウラナミシジミとトガリチャバネセセリをネットインしただけの成果に終わり、「<sup>せーふあーうたき</sup>斎場御嶽」までバスでの移動を考える。ただし、行きのバスの運ちゃんに乗り換えができると聞いてはいるが、バスの本数がどのていどなのかはまったくわからない。元の車道坂道へと戻ると、道路沿いのセンダングサの花でテングチョウやオキナワビロードセセリが蜜を吸っているのがカメラで迫る。

